

ワクチン情報ステートメント

ロタウイルスワクチン: あなたが知るべきこと

Many vaccine information statements are available in Japanese and other languages. See www.immunize.org/vis

多くのワクチン情報ステートメントは、日本語やその他の言語でご覧になれます。
www.immunize.org/vis をご参照ください。

1. なぜ予防接種を受けるのですか?

ロタウイルスワクチンはロタウイルス病を予防することができます。

ロタウイルスは一般的に、主に乳児や幼児に重度の水様下痢を引き起こします。乳児がロタウイルスに罹った場合、嘔吐や発熱がよく起こります。子供が脱水症状になることもあり、入院が必要になり死に至ることもあります。

2. ロタウイルスワクチン

ロタウイルスのワクチンの接種は子供の口の中に液を注入する方法です。乳児は、使用するワクチンのブランドに応じて、ロタウイルスワクチンを2回または3回接種する必要があります。

- ・初回の接種は生後15週以前に行われなければいけません。
- ・最終の接種は生後8か月までに行わなければいけません。年齢が

ロタウイルスワクチンを接種することによって、ほとんどすべての乳児が重度のロタウイルス下痢から保護されます。

「ブタサーコウイルス」と呼ばれる別のウイルスは、ロタウイルスワクチン (Rotarix) の1つのブランドに含まれています。このウイルスは、人には感染せず、安全上のリスクはないと報告されています。

ロタウイルスワクチンは、他のワクチンと同時に投与される場合があります。

3. かかりつけの医療提供者と相談する。

ワクチンを接種をする人の以下の様子の有無についてを予防接種提供者に伝えてください。

- ・以下の経験がある。前回のロタウイルスのワクチン接種のあとにアレルギー反応を起こした、あるいは以下がある。深刻な生命を脅かすアレルギー

- ・以下をもっている弱体化した免疫システム
- ・以下をもっている重度の複合免疫不全 (SCID)
- ・"腸重積症" と呼ばれる、ある種の腸閉塞に罹ったことがある。

場合によっては、お子様のかかりつけの医療提供者が先の来院までロタウイルスワクチン接種の延期を決定することがあります。

風邪などの軽度の病気の乳児は予防接種を受けられる場合もあります。中等度または重度の病気の乳児は、通常、ロタウイルスワクチンを接種する前に回復するまで待つ必要があります。

お子様のかかりつけの医療提供者から詳細を入手することができます。

4. ワクチンの副反応のリスク

- ・ロタウイルスワクチン接種後に、過敏性、または軽度の一時的な下痢、または嘔吐起こる可能性があります。す。

腸重積症は、病院で治療され、手術が必要になる可能性のある腸閉塞の一種です。これは、米国では毎年一部の乳児に自然的に発生し、通常、その既知の原因はありません。ロタウイルスワクチン接種による腸重積症のリスクはわずかであり、通常は1回目または2回目のワクチン接種後1週間以内に起こります。この追加のリスクは、ロタウイルスワクチンを接種する米国の乳児の約2万人に1人から10万人に1人の範囲であると推定されています。かかりつけの医療提供者から詳細を入手することができます。

他の薬と同様に、ワクチンが重度のアレルギー反応、その他の重傷、または死亡を引き起こす可能性は非常に低いです。



U.S. Department of
Health and Human Services
Centers for Disease
Control and Prevention

5. 深刻な問題が起こったらどうすればよいですか？

腸重積については激しい泣き声を伴うお腹の痛みの兆候に注意してください。早い段階で、このような症状はほんの数分続き、1時間に数回起こったり、止まったりを繰り返す可能性があります。乳児は足を胸まで引き上げるかもしれません。乳児はまた、数回嘔吐したり、便に血が混じったり、体力が弱まり非常に機嫌が悪くなる可能性があります。これらの兆候は通常、ロタウイルスワクチンの1回目または2回目の接種後の最初の週に発生しますが、ワクチン接種後は常にご注意ください。乳児に腸重積症があると思われる場合は、すぐに医療提供者に連絡してください。かかりつけの医療提供者に連絡がつかない場合は乳児をすぐ病院にお連れ下さい。あなたの乳児がロタウイルスの接種を受けたことを伝えてください。

アレルギー反応は接種を受けた人がクリニックを離れた後に起こることもあります。重度のアレルギー反応(じんましん、顔と喉の腫れ、呼吸困難、心拍数の増加、めまい、または脱力感)の兆候が見られる場合は、9-1-1にお電話し、その人を最寄りの病院にお連れください。

その他、懸念される兆候がある場合は医療提供者にお電話してください。

副反応は、ワクチン有害事象報告システム(VAERS)に報告する必要があります。通常、医療提供者がこのレポートを提出しますが、あなた自身が提出することもできます。VAERSのウェブサイト www.vaers.hhs.gov にアクセスするか、電話でお問い合わせください 1-800-822-7967。

VAERSは反応を報告するためのものであり、VAERSのスタッフは医学的アドバイスを提供しません。

6. 全国ワクチン傷害補償プログラム

全国ワクチン傷害補償プログラム(VICP)は、特定のワクチンによって負傷した可能性のある人々を補償するために作成された連邦プログラムです。予防接種による傷害または死亡の疑いに関する請求には、提出期限があり、最短2年になる場合があります。VICPのWebサイト

www.hrsa.gov/vaccinecompensation にアクセスするか、1-800-338-2382に電話して、プログラムと請求の提出についてご参照ください。

7. どうすれば詳細を学べますか？

- かかりつけの医療提供者にお聞きください。
- 最寄りのまたは州の健康局に電話してください。
- ワクチンの添付文書と追加情報については、食品医薬品局(FDA)のウェブサイト www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/vaccines をご覧ください。
- 疾病対策予防センター(CDC)にご連絡ください。
 - 電話 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO) または
 - 以下のCDCのウェブサイトをご覧ください。
www.cdc.gov/vaccines.

Japanese translation provided by California Department of Public Health, Immunization Program

